

＜特別展＞

# 体験者が見た大阪空襲

—空襲体験画が語るもの—



焼け崩れる四ッ橋附近

1944(昭和19)年12月から終戦前日の8月14日まで、大阪は8回の大空襲を含む50回以上の空襲を受けました。終戦を迎え、空襲を体験された方々が、当時の記憶や心情、状況を思い、描き起こしたものは『空襲体験画』として、空襲の凄まじさを伝え、見る人の胸を打つ貴重な資料として今も多く残されています。

ピースおおさかの常設展示でもいくつかの空襲体験画を展示していますが、本特別展ではそれらの他にこれまでに寄贈いただいた体験画を紹介します。体験者が見た大阪空襲を多くの方にご覧いただき、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考えていただく機会とします。



つむじ風に舞う



逃げまどう動員学徒

**2017(平成29)年8月1日(火)～12月27日(水)**

**場所 ピースおおさか 1階 特別展示室**



開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 入館料/大人250円、高校生150円。中学生以下・65歳以上・  
 障がい者の方は無料。20名以上は団体割引。  
 休館日/月曜日、国民の祝日の翌日(月曜日が祝日の場合、  
 翌日の火曜日は開館)、月末、年末・年始  
 ホームページ/<http://www.peace-osaka.or.jp>  
 〒540-0002 大阪府大阪市中央区大阪城2-1  
 TEL 06-6947-7208 FAX 06-6943-6080  
 最寄り駅/JR 森ノ宮駅(北出口)・地下鉄 森ノ宮駅(1番出口)  
 主催/ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)  
 後援/大阪府 大阪市 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会